



色内きれいに 恒例の草取り

小樽の市民団体

歴史的建造物が立ち並ぶ小樽市色内地区の景観を保持しようと、市民団体の小樽再生フォーラム(篠崎恒夫代表)は18日、恒例の草取りを行った。

歩道で雑草を刈る小樽再生フォーラムのメンバーたち

2017年から実施し4回目。メンバー3人が旧三井銀行小樽支店前の色内大通りや日銀通りなどを歩き、歩道脇に生えた雑草を刈り取った。集めた量は45畚のごみ袋で4袋になった。

高齢化や新型コロナウイルスの影響で今年は参加者が少なかったが、篠崎代表は「継続することに意味がある。今後も続けていきたい」と話した。(鈴木孝典)